

チャイルドライン子ども支援者養成講座を終えて

6月18日から始まった子ども支援者養成講座が終わりました。全体では261名の参加でした。松阪からは42名の方が参加されました。チャイルドラインの受け手、支え手は毎年、資質向上のため受講しています。また、子ども支援に関わる人（ファミリーサポート・養育支援・学習支援のサポーターや、教職員・学童保育指導員）の参加がたくさんありました。

今の子ども達の現状や「子どもが主体」という子ども観を学びました。中でも社会問題である「子ども虐待」、子ども支援者に必要な「子どもにはチカラがある～子どものエンパワーメントを支える大人の役割～」の講座の受講は100名を超え、関心の高さを感じました。



お知らせ

11月3日(祝)に開催される氏郷まつりにて、毎年恒例の不用品バザーを行います。10/26~10/31の間、事務所にて、不用品を集めますので、ご自宅に不用品がありましたら、ご持参ください。

ご協力お願い致します。
★食品類・衣類はご遠慮下さい。

レッジ・エミリア市を視察して

vol.4

小学校の学童保育を訪れた際、5~6人の子どもたちが頭をくっつけて、地図を見ながら話し合っている姿を見ました。レッジ・エミリア・アプローチでは「プロジェクト学習」をしています。これは決まったカリキュラムに沿って、大人が子どもに教えるのではなく、少人数のグループを作りそこに保育者も参加して、話し合いテーマを決め作品を作ります。そのプロジェクトは数日から数か月続くこともあり、子どもの興味や関心をもとに探求していき、その先にゴールがあります。そこには当然意見のぶつかり合いもあるでしょう。ぶつかり合った時にどうするか、考え、悩みながら、ひとつのものを仲間と作り上げていく、その過程で子どもたちは学び、成長するのだと思います。

保育者は子どもたちの意見や活動を写真やたくさんの媒体物を使い記録します。この「ドキュメンテーション」は最終的な作品だけでなく、その過程を見せるためのもので、保育者や親に共有されます。かなり詳細に子どもの様子が記され、大人が子どもの育ちに深く関わっていると強く感じました。



●この会に賛同し、会を支えてくださる個人・団体の方を募集しています●

個人正会員・参加会員：年8,400円 賛助団体会員：年1口10,000円 支援会員：年1口3,000円
※入会金：300円

会員数 正会員：27名 参加会員：4名 支援会員：85名 賛助団体会員：24団体(8月末現在)

【賛助団体会員】			
・医療法人 イワサ小児科	・医療法人 桜木記念病院	・東海印刷株式会社	・まんのう整形外科
・うれしの 太田クリニック	・ささおこどもクリニック	・東海シール株式会社	・医療法人 南産婦人科
・大久保クリニック	・株式会社 ジェントリー	・ナガフジ産業株式会社	・医療法人社団 鷲尾小児科
・おおたクリニック	・上瀬クリニック	・はせがわこどもクリニック	・他一団体
・岡田パッケージ株式会社	・医療法人 たるみ内科胃腸科	・健康体操 ひまわり会	
・医療法人 河合産婦人科	・医療法人 地主矯正歯科クリニック	・株式会社 富士土地	
	・鎮守の森を夢見る会・その二	・松阪市健康体操連絡協議会	

特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター

〒515-0084 松阪市日野町788 カリヨンプラザ1F (開所日・時間 月~金10:00~17:00)
TEL 0598-20-8344 FAX 0598-20-8345 ホームページ <http://www.mknpo.jp/> eメール info@mknpo.jp



子どものためのシェイクスピア「リア王」

8月19日(土)三重県総合文化センター中ホール

参加者：大人52名 こども34名

今年も松阪から86名の参加がありました。開演前に、ロビーでは子どもも大人も楽しめる企画が沢山ありました。今まで使用していた舞台衣装を着て写真を撮ったり、射的に長い列をつくって挑戦したりしていました。演劇が始まると集中して、面白い場面では大声で笑って反応していました。大人になると、どうしても頭で理解しようとしてしまいますが、子どもたちは、心で受けとめているように感じました。子ども時代に質の高い演劇をみる機会が大切だと思いました。



「リア王」観劇電車でGO!

参加者：21名(小学1年~6年)

子どもだけで切符を買い、電車とバスに乗って三重県総合博物館 MieMu まで行きました。今回は、松阪市在住のトンボ研究家の刀根定良さんにも同行していただき、現地では子どもたちと一緒にバッタを捕まえたり、虫クイズをしたりして過ごしました。最初は、恥ずかしがっていた子も、同じくらいの学年の子と仲良くなり、夏休みの一日を楽しむ姿が見られました。

保護者からは、『1人での参加で心配はしましたが、嬉しそうに帰宅し、その様子を見ていると一つ成長したなと感じました。』『学校の枠を超えたイベントに保護者の付き添いなしで参加することは、子どもにとってとても良い刺激になっています。また、弟が幼く観劇に連れていくことは難しいので、このようなイベントのおかげで息子に文化的体験をさせてあげられるのがありがたいです。』との感想がありました。

参加した子どもたちの感想

- ・かいさつが、けんをいれると「びおびお」となくのがおもしろかった。
- ・むしはかせが、むしのくいずをしてくれてうれしかった。
- ・トンボ研究家の刀根さんの話の中で、クイズに参加した事が楽しかったです。
- ・リア王をみる時間までロビーでお買い物をしたり、スーパーボールすくいをしたりするのが楽しかったです。
- ・ぼくがげきでーばんおもしろかったのは、たたかいのところ。なぜかという、よくあんなにたたかえてすごいからです。
- ・おかいものが楽しかった。もうちょっとおもしろいげきがよかった。来年も行きたいと思います。
- ・シェイクスピアのことは知っていたけど、お話はあまり知らなかったの、今回参加してよかった。
- ・電車のきっぷを買うのもたのしかった。家族と電車にのったのは何回かあるけど、一人でのったのは、はじめてだったのでドキドキした。けど、きっぷも買って安全に乗れたのでいい経験だったと思う。



社会的養護の社会化フォーラム ～つながってみんなで育てたらええやんに～

参加費 無料
整理券が必要

日時：2017年10月22日（日） 10：00～16：30
会場：三重県総合文化センター
男女共同参画センター（フレンテみえ）

当日は各地域からの お弁当の販売やパネル展示があります！

松阪子どもNPOセンターは、甘辛からあげ・味ご飯の販売をします！
他の地域からも・・・
手作りお菓子・鈴鹿コロッケ・カレーライス・さんま寿司・卵かけご飯・その他いろいろな物品販売があります！
皆さんのお越しをお待ちしています。



子どもは須く養育されるために生まれてきます。しかし、その願いが必ずしも叶えられないのも世の常です。三重の未来を託す子どもたちに、今私たちは何ができるのか。そんな思いをこめたフォーラムです。大勢の方のご参加お待ちしております。

「さとにきたらええやん」 事前映画会&トーク会

日時：9月1日（金）
会場：松阪市市民活動センター
外会議室
映画会：19：00～20：40
トーク会：20：50～21：50
参加者：26名



社会的養護の社会化フォーラムの事前の取り組みとして7ヶ所の地域で映画会をしました。松阪地域では子育て・子育て支援をしている団体、個人・行政・里親の方々方に声をかけ、子どもたちの現状を知り、地域の中でどう支援していくかを話し合いました。

映画を見て、それぞれの方の活動紹介を兼ねて感じたことを出し合いました。参加者から「参加して良かった」「松阪にも子どもの居場所ができるといいと思った」「多様な団体が継続して話し合う場をつくっていけないだろうか」という意見が出ました。共有しながら話したことで、今までのつながりや、これからつながる事が見えたように思います。

■プログラム

	時間	内容	定員	会場
映画会	10:00 ～11:50	映画「さとにきたらええやん」鑑賞	425名	1F多目的ホール
全体会	13:00 ～14:30	○基調講演 講師：庄保共子さん 演題「子どもが生きる力」を守る居場所 ○パネルディスカッション テーマ「つながる」13:40～14:30(50分) <パネリスト> ・庄保共子さん (特)こどもの里 理事長 ・大野朋美さん 児童養護施設エス・プランズ/自立援助ホームつばさ施設長 ・小林季代子さん 里親 ・鈴木英敬 三重県知事 <コーディネーター> 田部真樹子 社会的養護の社会化フォーラム実行委員会実行委員長	425名	1F多目的ホール
分科会①	13:00 ～16:30	子どもだけで映画「さとにきたらええやん」を観た後、感想を話して交流	30名 18才まで	セミナー室B
分科会②	14:45 ～16:30	映画「さとにきたらええやん」を観て庄保共子さんを交えて話しましょう	なし	多目的ホール
分科会③	14:45 ～16:30	支えるカタチを考える～養育支援・里親・特別養子縁組～ 問題提起の後、グループディスカッションをします	40名	セミナー室A
分科会④	14:45 ～16:30	自立につながる子どもの居場所をつくらう みんなの思いをKJ法にのせて	30名	セミナー室C

チャイルドラインチャリティー映画「さとにきたらええやん」実行委員会

日時：平成30年2月25日（日）
会場：農業屋コミュニティ文化センター
午前・午後・夜の3回上映予定

詳細は次号でお知らせします！

地域の方や子育て中のママさんで構成された実行委員会も4回となり、「たくさんの人に見てもらいたい」「子どもの居場所や人とのつながり、支援のかたちを考えるきっかけになれば」という思いが強くなってきています。松阪の子育て支援や子どもたちの現状をどんなかたちで発信するかの話し合いを深め、まずは松阪でどのような活動をしている人たちがいるのかを知ることから始めています。映画はもちろん、ロビー企画も構想を練っていますので、どうぞお楽しみに！